

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 259 号	氏名	富永 淳也
学位審査委員	主査	朝比奈 泉	
	副査	原 宜興	
	副査	筑波 隆幸	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1. 研究目的の評価 本研究の目的は、有限要素法を応用して、スライディングメカニクスと矯正用インプラントを併用し、パワーアームを用いて前歯を舌側移動する際の歯の変位とアーチワイヤー変形の解析を行い、その際の最適な荷重条件を決定することである。本研究は、効率的にかつスピーディーな歯の移動を行うことによって、矯正治療の強い関心事である治療期間の短縮を目指しており、当該研究分野での先駆的研究となる。</p> <p>2. 研究手法に関する評価 スライディングメカニクスと矯正用インプラントを併用し、パワーアームを用いて前歯を舌側移動する際の変位量を、有限要素法を用いて解析し、矯正力をパワーアームに作用させた際の、歯の移動様相を解明した。さらに、アーチワイヤーの変形が上顎中切歯の唇舌的な傾斜に及ぼす影響を検討し、理論値との比較を行っており、その手法は適切である。</p> <p>3. 解析・考察の評価 目的とする歯の移動に応じて、パワーアームの長さを調節することで、前歯の動きをコントロールすることができることが明らかとなった。また、その際に、アーチワイヤーがどのように変形し、前歯の動きに影響を与えているかについても示された。本研究で得られた知見は、臨床応用も可能であり、治療期間の短縮につながる治療方法の確立に寄与するものである。</p> <p>以上のように本論文は、矯正臨床の発展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			